

Cisco の社内デコードのない PCM のデータと音声の分析

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、パルス符号変調 (PCM) デコーダを使用することなく、PCM データ/音声をキャプチャが完了するとすぐに再生する方法について説明します。

前提条件

要件

この機能は、Cisco Integrated Services Router Generation 2(ISRG2)およびCisco VG350 Analog Voice Gatewayプラットフォーム向けに開発されました。これらのプラットフォームには次のものが含まれます。

- 2900 シリーズ
- 3900 シリーズ
- 3900eシリーズ
- VG350

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、Command Lookup Tool (登録ユーザ専用) を参照してください。一部ツールについては、ゲスト登録のお客様にはアクセスできない場合がありますことをご了承ください。

テスト設定とArgot DS0ダンプ/PCMキャプチャを次に示します。

<#root>

```
monitor pcm-tracer
monitor pcm-tracer profile 1
```

!--- "10" is the active B-Channel

```
capture-tdm E1 0/1/1 ds0 10
```

!--- Must configure, unit in minutes

```
monitor pcm-tracer capture-duration 2
```

!--- File name that will store in flash:

```
monitor pcm-tracer capture-destination pcmdata
```

!--- Delay unit in seconds

```
monitor pcm-tracer delayed-start 2
```

!--- Command to enable debug to trigger and rest capture

```
Router#
```

```
debug pcm-trace
```

!--- Command to start the capture

```
Router#
```

```
monitor pcm-trace start profile 1
```

```
Router#
```

```
show log
```

```
.
.
.
009636: Nov 19 03:56:10.487: %SYS-5-CONFIG-I: Configured from console by vty1
(64.104.205.247)
009637: Nov 19 03:56:13.479: pcmt_capture_process: PCM Tracer to start after
2 seconds
009638: Nov 19 03:56:15.480: pcmt_capture_process: PCM Tracer: start capture
```

```

009639: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_config_init: path pcmdata
009640: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_reset
009641: Nov 19 03:56:15.480: %PCM_TRACER-6-PCMT_START: Starting PCM Trace on
channel under profile 1
009642: Nov 19 03:56:15.480: pcmt_start_capture: Slot 0, subslot 1, port 1, chan 10
009643: Nov 19 03:56:15.480: ds0_tdm_get_connect_info(0/1/1:10)
009644: Nov 19 03:56:15.480: ds0_tdm_get_connect_info: rx_str 80, rx_chan 0,
tx_str 32, tx_chan 42
009645: Nov 19 03:56:15.480: pcmt_start_capture: PCM Tracer configure for
trace 0/1/1:10
009646: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_configure_ctcr
009647: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_configure_ctcr: ds0_dump_info index 0,
str 80, ts 0
009648: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_configure_ctcr: ds0_dump_info index 1,
str 32, ts 42
009649: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_configure_ctcr: tdm_map count 2
009650: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_configure_ctcr: DS0 dump PCM Tracer:
trace channel: 0/1/1:10
009651: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_mem_init
009652: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_mem_init: Allocated capture buffer ptr
0x0EA30000, size 0x001D4C00
009653: Nov 19 03:56:15.480: ds0_dump_start_capture: Capture_type 2, slot 0

009654: Nov 19 03:56:15.480: %DS0_DUMP-6-PCM_TRACE_STARTED: PCM capture started.
009655: Nov 19 03:58:15.479: %DS0_DUMP-6-PCMT_COPY_STARTED: PCM capture file
copy started.

009656: Nov 19 03:58:15.479: ds0_copy_dump_data_to_ifs: begin addr 0x0EA30000,
end addr 0x0EC04C00
009657: Nov 19 03:58:15.479: ds0_copy_dump_data_to_ifs: Allocate copy buffer ptr
0x2AC67260, size 0x000EA600

009658: Nov 19 03:58:15.481: ds0_copy_dump_data_to_ifs: Copy trace contents to
pcmdata_rx_0_1_1_10 size 0x000EA600
009659: Nov 19 03:58:17.256: ds0_copy_dump_data_to_ifs: Copy trace contents to
pcmdata_tx_0_1_1_10 size 0x000EA600
009660: Nov 19 03:58:19.078: %DS0_DUMP-6-PCMT_COPY_COMPLETED: PCM capture copy
completed.

009661: Nov 19 03:58:19.078: ds0_dump_mem_init
009662: Nov 19 03:58:19.078: ds0_dump_mem_init: Free capture buffer ptr 0x0EA30000,
size 0x001D4C00
.
.
.

```

キャプチャが完了すると、キャプチャされたファイルはflash:

```
<#root>
```

```
Router#
```

```
show flash:
```

```

--#- --length-- -----date/time----- path
.
.
.

```

19 960000 Nov 19 2012 04:13:26 +00:00

pcmdata_rx_0_1_1_10

20 960000 Nov 19 2012 04:13:28 +00:00

pcmdata_tx_0_1_1_10

.
.
.

キャプチャされたファイルは、PCMデコーダなしでAudacityまたはAdobe Auditionで再生できません。

Audacityでオーディオ再生を設定するには、次の手順を実行します。

1. Audacityアプリケーションを開きます。
2. Project > Import Raw Dataの順に選択します。
3. PCMキャプチャファイルを開きます。
4. 「生データのインポート」ウィンドウで、次のパラメータを選択または構成します。
 - a. U-Law (T1用) またはA-Law (E1用)
 - b. ビッグエンディアン
 - c. 1チャンネル (モノラル)
 - d. 開始オフセット : 0バイト
 - e. インポートする金額 : 100%
 - f. サンプルレート : 8000 Hz

Adobe Auditionでオーディオ再生を設定するには、次の手順を実行します。

1. PCMキャプチャファイルに拡張子.pcmを付けて名前を付けます。
2. Adobe Auditionアプリケーションを開きます。
3. File > Openの順に選択します。
4. PCM Raw Dataを選択して、PCMキャプチャファイルを開きます。
5. 「サンプル書式の解釈」ウィンドウで、次のパラメータを選択または構成します。
 - a. サンプルレート : 8000
 - b. チャンネル : モノラル

c. 解像度：16ビット

6. Data Formatted Asウィンドウで、8 bit mu-Law Compressed (T1の場合) または8 bit A-Law Compressed (E1の場合) を選択します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。